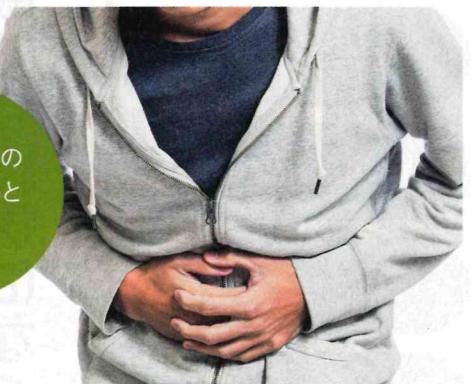


薬を飲んだりせず、医療機関を受診するようにしてください。

がんの中でも、肺がんと並んで多いのが胃がんと大腸がんです。胃がんの原因にはピロリ菌の感染、喫煙分の過剰摂取があり、大腸がんは動物性脂肪の消化の際に原因物質が発生すると考えられています。

## 「痛み止め」の用法を誤ると胃潰瘍に！



胃腸の病気としてよく知られています。胃潰瘍や慢性胃炎があります。胃潰瘍はみぞおちの痛み、慢性的胃炎では胃の不快感や胸やけなど胃がんと似た症状が出ますが、どちらも主な原因となっているのはピロリ菌で、菌を除去することで完治します。近年はピロリ菌の感染自体が減ってきたため、胃潰瘍も慢性胃炎も、また十二指腸潰瘍なども、以前に比べ大きく減っています。

一方でたばこや薬が原因の胃潰瘍は今も見られます。胃の調子が悪いときに痛み止めとしてロキソニンな

視鏡学会認定専門医に診てもらうといでしょ。咽頭がん、食道がんとも、がんの組織はほぼ同じで、早期であれば内視鏡で見つけてその場

専門医を選びて  
口腔から食道までの病気で怖いのは、やはりがんです。舌がん、口腔底がんなどの口内にできるがんを総称して口腔がんと呼びます。舌がんは20代、30代の若い人でもかかるがんですし、先代の貴ノ花は2005

## 消化器系

## 抗炎症剤は潰瘍の危険。

## 劇的進歩の



# いい病気 放つておいて

一刻も早く専門医に診てもらうべき病気が  
ある一方、「放つておいたほうがいい」と  
いわれている病気もある。  
名医たちに最新事情を教えてもらおう。

胆のうの病気の代表は胆石です。胆汁成分が結晶化したもので、加齢とともにできやすくなり、日本では70歳以上の5人に1人が持っていると言われています。そのままで自覚症状はありませんが、できた胆石が胆管に詰まると、みぞおちなどに激しい痛みを伴う胆石症を発症し、急性膵炎や肝障害を併発して、緊急手術を受けなければならぬこともあります。

ば100%治る病気だからです。

# の危険。薬より

メソッド大集合  
たの考え方  
の度変わる

因となり、がんの発症率も高くなります。脾臓の病気でも恐ろしいのが脾臓がんです。早期発見が難しく、5年生存率が7%と、ほかのがんに比べて突出して低くなっています。実は糖尿病になると、脾臓になるリスクが高まります。生活習慣に気をつけて、糖尿病の防護を心がけることが大切です。

「胆石があります」と言われたらない発熱があつた場合には、炎症を疑つて早めに受診するよこしましよう。

胆のうのがんと胆管のがんをわせて胆のうがんと呼びます。のうがんの原因も胆石で、初期は症状がありませんが、進行し場合は周囲の臓器に広がつてモガ困難になるため、膵臓がんらんで、最も死亡率の高いが、一つです。進行してしまふ前に見するには、人間ドックなどで腹部のエコーを受ける必要があります。

膵臓の病気の代表は糖尿病で、本には1000万人の患者があります。膵臓が弱つてインスリンの分泌が減つたり、効きが弱くな状態です。糖尿病は神経障害や膜症、腎不全など多くの病気の原因となります。

# 歩く」が効く

き病気が  
い」と  
おう。

## 長尾和宏



長尾クリニック院長、医学博士。東京医科大学卒業。1995年兵庫県尼崎市で開業、複数医師による365日無休の外来診療と24時間体制での在宅医療に従事している。著書に『糖尿病と膝障がん』など

久保田正志=構成 Getty Images=写真

《健康診断》70万人調査で常識一変! 最高血圧160で問題なし

# PRESIDENT

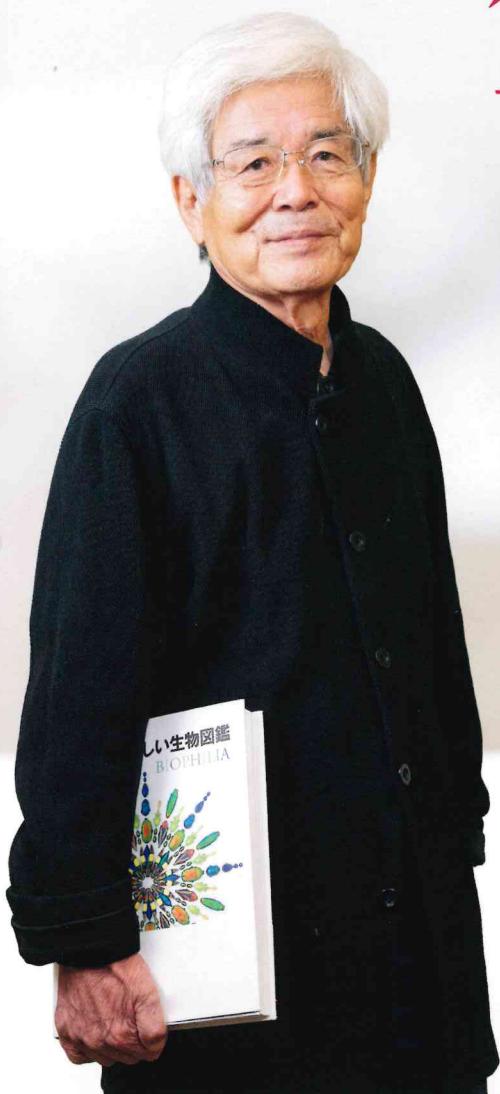
プレジデント

毎月第2・第4金曜日発売 2020.1.3号  
価格780円

一家に一冊、保存版◎  
医者に頼らない生き方

信じては  
いけない!  
!

# 健康診断



なぜ「健康」なのか?  
なぜアメリカ人の9割は

